竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦

竹の子
http://www.takenokokai.com

竹の子会会報
No.566
竹の子会総務委員会
平成27年３月12日

新　年　互　礼　会

日時：平成27年１月22日(木)　　場所：四鳥

長期計画委員会
副委員長
渡部　道徳

第59期大垣竹の子会の年が明けての最初の事業であります、新年互礼会が平成27年1月22日(木)に「四鳥」にて行われました。今回の互礼会には、特別会員29名、現役会員28名の総勢57名の方に参加いただき、事業を盛況に行う事が出来ました。

新年互礼会は、現役会員が特別会員の諸先輩方と膝を交えてお酒を飲み、お話が出来る数少ない機会であり、今年の席におきましても、貴重なご指導、ご鞭撻を受ける様子が窺えました。現役会員の席が空席になり、積極的に特別会員の方々と交流を深めようとする姿に、本事業の成果が見られ、大変有意義な懇親会だったと思います。

林長期委員長の司会にて沼波副会長の開会の辞から始まり、國枝会長の挨拶、特別会員の紹介、清水OB会長の挨拶に続き、馬渕特別会員の音頭により乾杯が行われ、懇親会が始まりました。

さらに、永井第60期会長予定者より来期常任予定者が紹介され、来期を担う各予定者へ盛大な拍手が贈られ、特別会員の方々が築き上げられた伝統と更なる会の発展を期する強い思いが感じられました。

その後、会歌の斉唱で特別会員と現役会員が一丸となり、金森勤特別会員の締めの言葉をいただき、津汲副会長の閉会の辞にて閉めさせていただきました。

最後に、滞りなく盛大にかつ無事に新年互礼会を終える事が出来ましたのも、偏にご参加いただいた特別会員・現役会員の方々のご協力の賜物と、長期委員会一同深く感謝致しております。

59期も半分が過ぎましたが、まだまだ重要な事業も残っております。60期に向けてより充実した会になりますよう、会員全員で盛り上げていきましょう。

第60期　副会長予定者あいさつ

第60期副会長
予定者
金山　幸生

会員の皆様こんにちは。第54期入会、金山 幸生です。

この度、第60期副会長として、承認して頂きありがとうございます。

まさか、自分が記念すべき第60期の副会長を務めさせて頂けるとは夢にも思っていなかったので、大変嬉しく思います。また、少し前は副会長予定者という肩書が付いた事になんだか少しだけ偉くなったような気もしましたが、日にちが経つにつれ、そんな事もなくなってきました。今はただただ“とんでもない役を引き受けてしまったぞ”と、今更ながら副会長という役の重大さの再認識をしています。

今回、副会長予定者として挨拶の原稿を書くにあたり、自分は何を目標にして今後やって行くのか、どのような事をしたいのか、改めて今後の自分自身の目標や皆に伝えたい事を考えてみて、やはりこれしかない！という事が一つあります。それは“楽しくやる！”という事です。今、自分自身、本当に楽しく竹の子活動をしています。会員の皆様はどうでしょうか？楽しく活動できていますか？人それぞれ何が楽しいかは違うと思います。では、その楽しい事を誰かに自信を持って伝える事が出来るのでしょうか？

この前、OBの先輩方とお話する機会がありました。今、竹の子会が直面している問題の一つでもある会員の減少、自分の友人をなぜ誘わないのかと問われました。自分が活動していて楽しい所を伝えられれば自信を持って誘えるのではないかと。確かに楽しい事は沢山あります。竹の子会に入って良かったと思っていますが、この楽しさを他の人に伝えようとした時、その人に共感してもらえる事なのか、何か自信を持って話せる楽しさなのかという事を考えた時に、上手く伝える事が出来ない自分がいました。友人を沢山作れて楽しい竹の子会だけではなく、今後は“楽しくやる！”をもう少し変えて、色々な楽しさを追求でき、会員全員が今よりももっともっと人に誇れる楽しい事をしている竹の子会を目指して行くべきなのかな？と思います。

60期はしっかり守るべき所は守りつつも新しい事にどんどんチャレンジし、皆で家族や友人達に“自分達はこういった事をしているんだ！”と自信を持って話せるような、誇れて楽しい事業を計画していけたらいいのではないかと思います。大変な期になるとは思いますが、皆で協力してやれば何でもできるのが竹の子会です。第60期、楽しい期に出来る様、よろしくお願いいたします。

第60期副会長
予定者
三宅　一彰

この度、第60期副会長予定者としてご承認をいただきました、第57期入会の三宅 一彰です。入会してまだ期も浅い私が、伝統ある大垣竹の子会第60期という節目の年に、副会長という大役を務めさせていただくこととなり、身に余る光栄に感じますとともに、責任の重要性を重く痛感しております。

私自身は、大垣竹の子会に入会し、60期の記念すべき年に４年目という、まだまだ竹の子会の事をすべて理解しているわけではなく、未熟者だと思います。しかし、竹の子会を良くしたい、竹の子会を多くの方に知っていただきたいという気持ちは常に心に強く持ち、これまでの竹の子会の活動を行ってきました。

永井会長予定者とは、57期入会の同期であり、渡邊副会長予定者、澤田奉仕教養副委員長予定者と共に切磋琢磨し、竹の子会を盛り上げてきました。

今回、永井会長予定者から副会長のお話をいただき、副会長の大役を引き受けたのも、常々、永井会長予定者から竹の子会に対する熱い思いと、竹の子会をより良い団体にしていきたいという思いを受け、自分自身も同じ思いで竹の子会を良くしていきたいという気持ちでいたからです。

私は竹の子会に入会した時から、同期の中から会長になる人が現れた場合、絶対に力になりたいという思いは常々考えていました。ただ、仕事柄、常任という大役は引き受ける事は出来ないのではないかと考える事もありましたが、自分に出来ないと決め付けてしまうのではなく、自分自身にも出来るんだという思いから、快く引き受けました。

入会してから現在３年目ではありますが、竹の子会の活動を通じて、多くの経験をさせていただきました。また、竹の子会の活動を通じて、多くの仲間と知り合える事が出来、その仲間と共にこの60期という記念の年に今までの経験を活かし、自分なりにこの大役を務めていきたいと思っています。

私自身はまだまだ未熟者であり、分からない事も多々あるかと思いますが、皆様のご指導をいただき、より良い60期にし、61期、62期というこれから先に繋がっていくような魅力のある、そして、竹の子会の一員である事を誇りに思えるような会にしていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

第60期副会長
予定者
渡邊　光輝

皆様こんにちは。57期入会の渡邊 光輝です。この度、第60期大垣竹の子会副会長を務めさせていただくことになりました。

入会４年目で副会長という大役をいただきました。これまで以上に大きな責任を背負うことに身が引き締まる思いです。

永井会長予定者とは同期でもあり、竹の子会の様々な活動を通じて、同期としてだけではなく、生涯の友としてお互いを助け合い、励まし合いながら頑張って参りました。

今回、副会長を引き受けたのも、永井会長予定者からの、竹の子会に対する熱い情熱と会員一人一人を思いやる気配りに感銘を受けたからです。そして何より、その熱い情熱を持った永井会長予定者と共に、60期という節目に、竹の子会を引っ張っていく立場になった事を幸せなことだと思っております。

これからの一年半、今まで経験したことのないほどの多忙な毎日になると思いますが、私に出来ることは、一つ一つの事業が成功するために、仲間を信じ、精一杯力を出し切ることです。会員一人一人の想いに全力で応え、背中を全力で押していけば、必ずや良い結果を生むと信じております。多少の回り道をしたって、回り道した分だけ経験を積むことができます。

59期では奉仕委員長を務めさせていただいておりますが、仲間を信じて全力を出し切ったおかげで、素晴らしい事業を作り上げることができました。そうして培った経験こそが、竹の子会を通じて私自身がより大きく成長していくために必要な糧なのだと、実感しています。

最後になりますが、私自身まだまだ未熟な身で、経験も浅く、頼りにならない所も多々ありますが、竹の子会をもっと素晴らしい会にしたい！もっと会員同士の繋がりを深めたい！という思いは胸の奥に強く抱いております。60期の副会長として、その思いを前面に出し、何事も全力でぶつかっていきますので、是非とも皆様よろしくお願い致します。

第60期　事務局長予定者あいさつ

第60期事務局長
予定者
堀　陽介

この度、第60期事務局長予定者の承認をいただきました54期入会の堀 陽介です。

60期という竹の子会の周年記念の年に大役を仰せつかり、非常に光栄なことで嬉しく思う反面、竹の子会での自分の経験や知識でこの大役が務まるのだろうかというプレッシャーを感じております。永井会長予定者から事務局長の打診を受けた際、驚きもありましたが、永井会長予定者の熱い思いや会に対する姿勢を見てきた自分にとっては喜びでもありました。

会には３つの基本目標があり、どれも大切ですが、その中でも私が一番大切に思うことは「会員相互の親睦」です。それでこそはじめて良い事業が出来ると思いますし、「人間形成への修練」と「地域社会への奉仕」に繋がるのだと、私自身はこれまでの活動の中で感じました。年々会員は減少傾向にあり、厳しい状況ではありますが、だからこそ会員相互の親睦を深め自分達が出来ること、本当にやりたいことを見つめ直して、青年団体らしく大志を持って60期を邁進していきたいと思います。

入会して以来、委員長と副委員長を経験させていただきましたが、全体の事業計画や事業予算を作成する立場になり、初めて知る知識ばかりです。恥ずかしながらこれだけ会の予算と向き合ったことが無かったので、今までとは違った目線で竹の子会を見ることが出来るのではないかと思いますし、事務局長予定者として全体にも目を配らなければなりません。手さぐり状態の中で60期としての活動も始めておりますが、皆様にご指導いただきながら、まずは永井会長予定者が7月1日より素晴らしい60期のスタートが切れる環境作りに力を注ぎたいと思います。

これまでの活動は数ヶ月に一度担当する例会を委員会内で取り組むことの繰り返しでした。60期は事務局長として、全体と先を見据えるだけの「余裕」が持てることを目標とし、取り組んでいきます。これは竹の子会の活動に関わらず、仕事や日常生活においても大切なことです。

まだまだ未熟な私ですので、皆様のお力添えをお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

第44期　大垣市青年のつどい協議会 副会長予定者あいさつ

第44期つどい副会長予定者
宇野　隆富

この度、大垣竹の子会より出向し、第44期大垣市青年のつどい副会長を務めさせていただきます、56期入会の宇野 隆富です。

さて来期、当会は60期という節目を迎えます。諸先輩が積み上げてきた60年の歴史の重みと感謝の気持ちを胸に秘め一年間、微力ではありますが、精一杯役を務めさせていただきます。

最後になりますが会員の皆様のご協力、またご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

お誕生 おめでとうございます。

大藏　信一郎君に

二男　世十郎（せいじゅうろう）

ちゃんが生まれました。

平成27年2月19日

3 4 月の予定

奉仕活動（3月度例会）

日　時　平成27年３月20日（金）
場　所　大垣駅周辺

新入会員例会（4月度例会）

日　時　平成27年４月22日（水）
場　所　大垣市北部体育館